

第17回レファレンス協同データベース事業担当者研修会開催要項

1 趣旨

レファレンス協同データベース（以下「レファ協」という。）の活用及びデータ登録の促進のため、レファ協事業参加館に対し、システムの機能及びデータの作成方法について研修を行います。

2 日時及び開催方法

第1回：令和3年9月10日（金）12:30～17:00

第2回：令和3年9月29日（水）12:30～17:00

同一内容で2回実施します。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、Web会議システム（Cisco Webex Events）を使用して国立国会図書館関西館からオンライン中継し、受講者は職場又は自宅から受講します。なお、研修日より前に受講者向けのテスト接続を行います。

3 対象及び定員

以下の条件を全て満たす方を対象とします。定員は各回18名とし、申込みが定員を超える場合は抽選により受講者を決定します。

- (1) 事業参加館におけるレファ協担当者のうち、初任者、経験が浅い方又は近年データを登録していない方。
- (2) 1館につき1名。
- (3) 端末及び通信環境が用意でき、マイク及びカメラ接続が行える方。

4 内容

(1) プログラム

時間	内容	担当
12:30～12:40	事務連絡	関西館図書館協力課協力ネットワーク係
12:40～13:30	講義「レファ協事業の概要／システムの機能・活用について」	関西館図書館協力課協力ネットワーク係
13:30～13:40	休憩	
13:40～14:30	講義「レファ協のデータ登録とは」	羽衣国際大学人間生活学部准教授 谷本達哉氏
14:30～14:50	休憩	
14:50～16:55	受講者討議・まとめ	コーディネータ：谷本達哉氏
16:55～17:00	事務連絡	関西館図書館協力課協力ネットワーク係

(2) 事前・事後課題

① 事前課題

- ・受講者がデータ1件（レファレンス事例、調べ方マニュアル、特別コレクションから選択）を作成し、レファ協の研修環境に登録します。
- ・研修環境に研修用IDでログインし、各回の受講生が登録した全てのデータを読みます。

② 事後課題

- データ 1 件（レファレンス事例、調べ方マニュアル、特別コレクションから選択。事前課題で作成したものでも可）をレファ協に登録し、一般公開します。
- 研修後に職場で行った取組（同僚との情報共有、業務の改善など）及び本研修会の感想（参考になった点、更に知りたい点等）について記載したレポートを提出します。

5 修了証の発行

全科目に出席し、かつ、課題を全て遂行した受講者には、修了証を発行します。